第 90 回
鈴木鎮一記念館コンサート

2025.7.27 Sun. 開演 14:00

片岡ファミリーコンサート

入場無料 40 名様限定（要予約）

鈴木鎮一記念館 展示室

※お電話またはメールにてお申込みください

片岡ヴァイオリン-チェロ・スクール発表会より

Program

ドボルザーク：弦楽四重奏曲第 12 番ヘ長調 Op.96”アメリカ”より第 1 楽章
サン=サーンス：アレグロ・アパショナート
バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第 1 番ト短調より第 1 楽章
エルガー：愛のあいさつ
ブラームス：ヴィオラ・ソナタ第 1 番ヘ短調 Op.120-1 より第 3 楽章
ベートーベン：弦楽三重奏曲”セレナーデ”ニ長調 Op.8
パガニーニ：ロッシーニの主題による変奏曲
サン=サーンス：白鳥
ブラームス：ハンガリー舞曲第 1 番ト短調

お申込先：鈴木鎮一記念館　TEL0263-34-6645
〒390-0802　長野県松本市旭 2-11-87
E-mail:kinenkan@suzukimethod.or.jp

片岡正義（チェロ）、片岡映子（ヴァイオリン）

夫妻は全米で 2 番目に古いセントルイス交響楽団に 32 年間在籍。アミチ弦楽四重奏団を主宰し、セントルイス響とも共演。また、ヒロセ - カタオカ・トリオを主宰し日本各地、および米国で演奏。スズキメソード・セントルイス支部を設立し、米国の子供たちにヴァイオリンとチェロを指導。Talent Education Journal 及び、国際スズキ協会の機関紙、International Suzuki Journal の編集と発行に携わり、鈴木鎮一先生の著作や機関誌「才能教育」など、日本の文献の英訳を長年に渡り世界各国に紹介。

岡山市出身の正義は東京芸術大学付属音楽高等学校及び芸大卒。オベリン音楽学校特待生として渡米。タングルウッド音楽祭、ニューカレッジ音楽祭に参加。グリーン・ハウス、エスキン、カプチンスキー諸氏に師事。カマーギルド室内合奏団及びバッハ協会室内オーケストラの首席奏者を務める。

豊橋市出身の映子は 2 歳半より才能教育でヴァイオリンを始める。鈴木鎮一、近藤富雄両氏に師事。8 歳の時、初リサイタル。1960 年代、鈴木鎮一先生の講演旅行に独奏者として同行、日本各地を回る。高校卒業後、才能教育研究会の派遣指導者として渡米、オベリン音楽学校でアメリカの子供たちの指導に携わる傍ら、ヴァイオリン奏者としても活躍。キヤノン、モンテキュウ両氏に師事。

夫妻は 2001 年に帰国。演奏活動の傍ら片岡ヴァイオリンーチェロ・スクールを設立し、岡山で子供たちの指導に当たっている。

片岡千津（ヴィオラ）

米国・セントルイス出身。現・コネチカット州スタンフォード在住。幼少よりヴァイオリンとチェロの手ほどきを父母から受ける。14 歳より 4 年間、鈴木鎮一先生の下で勉強。スズキ・テン・チルドレン訪米旅行に参加し、ヴァイオリンとチェロを演奏。ドイツで開催されたスズキ国際大会でチャイコフスキーのコンチェルトをベルリン・ラジオ・シンフォニーと共演。インデイアナ大学でヨセフ・ギンゴールド、ユーバル・ユーロン両氏に師事、ユーロン氏のアシスタントも務める。アレキサンダー・シュナイダー指揮のニューヨーク弦楽オーケストラのコンサートマスター、　オデッサ交響楽団の副コンサートマスターなどを務める。マンハッタン音楽学校プレカレッジでヴァイオリン、ヴィオラ、室内楽を指導。スズキメソードの指導者として長年に渡り米国の子供たちを指導。ヴァイオリン奏者の夫・クワンと二重奏、カルテットなど、演奏活動を共にする。

片岡典子（ヴァイオリン、チェロ）

米国・セントルイス出身。オーストリア・グラーツ在住。幼少よりヴァイオリンとチェロの手ほどきを父母から受ける。15 歳より 3 年間、鈴木鎮一先生の下で勉強。スズキ・テン・チルドレン訪米演奏旅行に参加しヴァイオリンとチェロを演奏。イニスフリー・アンザンブルのメンバーとして米国、カナダ、日本の各地で演奏。シカゴ・ノースウエスタン大学音楽学部及び同大学院卒。ミネソタ響、デ・モイン響、シカゴ・ヴィネトカ婦人協会、エバンストン音楽協会などのコンクールで優勝及び入賞。ニューヨーク弦楽オーケストラ、アスペン音楽祭、パシフィック・ミュージック・フェスティヴァル(PMF)などに奨学生として参加。野村国際文化財団より助成金を授与され、ウィーン国立音楽大学で研鑽。これまでにウェント、ヤンソン、ヘルツァー諸氏に師事。2002 年より数年間、ヴェルトハイムシュタイン・トリオ・ウィーン及び PMF の OB と室内合奏団を主宰し、日本各地で演奏。現、グラーツ・フィルハーモニー管弦楽団在籍。

蒋・片岡美月（ヴァイオリン）

米国・ヒューストン出身。3 歳よりヴァイオリン、10 歳よりチェロを母親の下で始める。現・ブラウン大学 2 年生。応用数学と国際ポリシーを専攻の傍ら、ヴァイオリンの個人レッスン、室内楽（ヴァイオリンとチェロ）、オーケストラを勉強し、演奏活動をしている。

シュルテ・片岡野亜（チェロ）

オーストリア・グラーツ生まれ。13 歳。幼少よりチェロの手ほどきを母から受ける。

片山桜子（ピアノ）

倉敷市出身。フェリス女学院大学音楽学部・演奏学科を器楽部門賞等、受賞し卒業。同大学音楽学部・ディプロマコースを経て渡仏、パリ・エコールノルマル音楽院にて 2 年間研鑽を積む。第 86 回読売新人演奏会出演、ウィーン、ニースでの国際音楽セミナー等に参加。現在、フェリス女学院大学音楽学部・副手を務める傍ら、演奏活動を行っている。横浜オラトリオ協会合唱団専属ピアニスト。